



いま、ここで これからの 多文化共生を 考える

平成28年
2月7日

開催時間/13:30~16:00

会場/とりぎん文化会館 (第1会議室)

入場無料

～日々の暮らしの中で、私たちができること～

県内には約4,000人の外国にルーツをもつ住民が暮らしている。人口減少が急激に進むなかで、誰に対しても地域のコミュニティをひらき、私たちが気分良く暮らすにはどうしたらいいのだろうか。このシンポジウムでは異なる文化をもつ人々との相互理解、協働に着目し、ここに暮らすすべての私たちがいまできることを考える機会にしたいと思います。

第1部 13:30~14:00



基調講演「いま、ここで、これからの多文化共生を考える」

講師 仲野 誠氏 (鳥取大学地域学部教授)

アメリカのワシントンDCやバングラデシュのダッカで暮らした経験がきっかけになって大学卒業後に社会学を学びはじめる。それぞれが大切にしていることを互いに大切にしたいという気持ちを持っている。

第2部 14:10~16:00

パネルディスカッション「外国にルーツをもつ住民の経験に学ぶ多文化共生」

(1) 14:10~15:10 **個別発表** 外国にルーツをもつ住民の方から「多文化共生について感じる鳥取のいまのすがた」や「自分たちが大切にしていること」についてお話していただきます。

発表者 鄭文燦氏 (中国出身、元鳥取市国際交流プラザ職員)
森本レイリナ氏 (フィリピン出身、鳥取市教育センター主催事業「English World」地域人材講師)
ジュリタ・ファルル・ロキム氏 (インドネシア出身・ムスリム、鳥取大学地域学研究科研究生)

(2) 15:20~16:00 **自由討議** 国際交流関係団体等の具体的な取組の現状を知るとともに、異なる文化をもつ人々との相互理解、協働に着目し、ここに暮らすすべての私たちがいまできることを考えていきます。

パネリスト アベ山田 マリア ルイサ氏 (公益財団法人鳥取県国際交流財団理事)
ケイツ 佳寿子氏 (タイム(とっとり国際交流連絡会)会長)
意見発表者(3名)

コーディネーター 仲野 誠氏

